

第2期 多摩市国民健康保険データヘルス計画中間評価について

1. 経過等

- 平成30年4月 第2期多摩市国民健康保険データヘルス計画策定
- 令和3年2月 多摩市国民健康保険運営協議会に、第2期多摩市国民健康保険データヘルス計画中間報告案を報告、意見照会（書面開催）
- 令和3年9月 多摩市議会第3回定例会常任委員会にて報告予定

2. 内容（抜粋）

1) データヘルス計画についての基本的事項

■ 中間評価の方法

中間評価は、立案した計画に則って、現在実施している事業が、うまくいっているかを確認し、うまくいっていない場合なぜうまくいっていないのかを分析・検討し、次の3年間の方向性を見出すために実施します。中間評価にあたっては、データヘルス計画全体としての評価と、あわせてデータヘルス計画を構成する個別の保健事業についての評価も行います。各評価は、国から参考に示された4つの視点（視点種類：ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカム）を基に行います。

2) 全体評価 ～全体に関連するデータの推移～

- 年齢別被保険者割合の推移：65歳から74歳の年齢層は、国、東京都と比較して、高い水準で推移しています。
- 医療費の推移：医療費全体（総計）は、年々減少しています。被保険者1人あたり年間医療費は毎年増加してきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少しました。

3) 個別事業評価

- 詳細は概要版裏面または本編参照。事業判定については、各事業について、「A うまくいっている」から「D まったくうまくいっていない」及び「E 判定困難」で判定しました。概ねA判定でしたが、課題がある事業もありました。

以上